

公安委員会定例会議(第3回)の開催状況

第1 日 時 令和3年2月3日(水)

午後2時00分 ～ 午後4時10分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 渡部委員説示

新型コロナウイルス感染症は、昨年来猛威を振るい続けていますが、長い日本の歴史を振り返ると、人々は、様々な感染症に苦しめられてきたことが分かります。昨日は節分でしたが、節分に豆まきを行うのは、平安時代の鬼(疫病)を追い払う宮中行事の名残りとのことです。

日本の感染症との闘いの歴史が記載されている書籍によると、我が国は、感染症が流行するたび、古くは疫病封じの大仏建立や「まじない」を、江戸時代には隔離予防や、今でいう定額給付金の交付といった経済対策など、時代に応じた対策を講じており、これらは、当時の文学者等が様々な形で記録として残しています。

今年に入り、愛媛県警察でも、今治署において新型コロナのクラスターが発生しました。警察の業務は、不特定多数の人との接触も多く、また、仕事の特殊性などから、感染リスクも高いと思いますので、警察ならではの感染症対策をしっかりと行っていただきたいと思います。

併せて、一連の対応状況等を今後の教訓とする必要があるのではないかと考えます。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第2回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 自動車運転免許技能試験官の指定

交通部から、自動車運転免許技能試験官の指定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和2年度第2回警察署協議会の開催状況

総務室長から、令和2年度第2回警察署協議会の開催状況について報告があった。

委員から、「昨年4月以降、2署の警察署協議会に参加したが、いずれも活発な討議がなされていた。引き続き、各署の警察署協議会に出席していきたい」との発言があった。

(2) 令和2年度総合監察等の実施結果

首席監察官から、令和2年度総合監察等の実施結果について報告があった。

委員から、「会社においては、同じ間違いが繰り返し起こるような場合、“気をつけてやらなければならない”と指導することは大事であるが、それ以上に“気をつけなくともできる方法を見出す”ことが必要であると考えている。警察においても、見直すべきはしっかりと見直しつつ、業務を進めていただきたい」との発言があった。

委員から、「良好な施策にも目を向け、それをプラス面に活かすことも検討していただきたい」との発言があった。

(3) 令和3年度当初予算の概要

警務部長から、令和3年度当初予算の概要について報告があった。

(4) 令和2年度交通事故防止研修会の開催状況

警務部長から、令和2年度交通事故防止研修会の開催状況について報告があった。

委員から、「事故の中には、もう少し気を付けていれば防ぐことができるものもある。技能訓練を反復継続して行うことと併せて、運転者、同乗者とも安全確認を徹底するよう指導していただきたい」との発言があった。

(5) 令和2年中における刑法犯認知・検挙状況

生活安全部長及び刑事部長から、令和2年中における刑法犯認知・検挙状況について報告があった。

委員から、「認知件数も減少している。引き続き、犯罪の未然防止及び発生時の迅速的確な対応に努めていただきたい」との発言があった。

(6) 令和2年中の機動隊活動概況

警備部長から、令和2年中の機動隊活動概況について報告があった。

委員から、「日頃の訓練を徹底しつつ、有事に備えていただきたい」

との発言があった。

(7) リモート形式による警察署長会議の開催結果

総務室から、リモート形式による警察署長会議の開催結果について報告があった。

(8) 被疑者取調べ監督の実施状況

総務室から、被疑者取調べ監督の実施状況について報告があった。

4 その他

本部長から、「今治署の新型コロナ関係では、県警が一丸となり対応中である。委員説示のとおり、一連の対応を教訓として、全職員にしっかりと意識付けを図っていきたい」との発言があった。

以 上